

いゃーいゃー岡山

秋号 NO.143

2025

10



巻頭言

『MTDLP普及推進委員会 認知症支援委員会をよろしく』



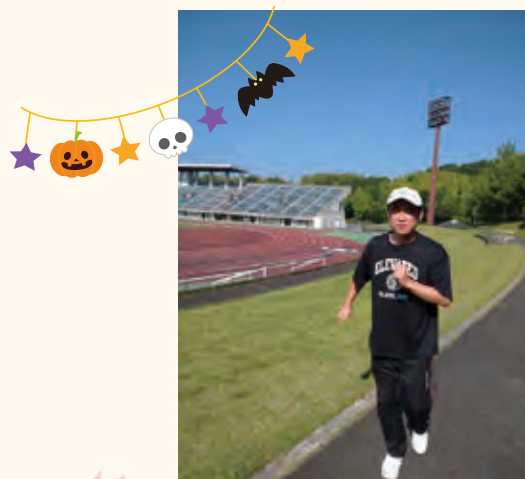
岡山県作業療法士会 理事
米井 浩太郎（老人保健施設 虹）

みなさまお元気にお過ごしでしょうか？
米井でございます。私は理事をさせていただき、5期10年目となりました。これまで自己研鑽をしなくてはいけないということで自分なりに忙しく過ごし、やはりOTの勉強ばかりでは息切れを起こし、継続していくことは難しいなと感じています。時には気分転換も必要ですねということで、職場で外国人の方と仕事する機会があり、インドネシア語の勉強をなんとなく始めてみました。OTに関係のないことで勉強してみると楽しく日々の疲れを忘れることもありました。ごく最近には職場の人たちと体力づくりのため週1回の4キロ程度のランニングも始めまして、毎週嫌で苦しいのですが気力を維持するために続けていきたいなと思っています。たまには他に熱中できることがあると良い気分転換になりますので、OTの勉強に行き詰った時には勉強をやめてしまうのではなく、息抜きもしながら色々な熱中できることを探し、細く長く自己研鑽を積める工夫をしていただければと思います。

さて、せっかくの機会ですので、私が担当しているMTDLP普及推進委員会と認知症支援委員会についてお話しします。MTDLP普及推進委員会では毎年MTDLPの各種研修を企画しています。受講者は年々に低下傾向にありますがMTDLPは学生時代に習ったのもういいやと言わず、ぜひ基礎研修から参加して、実践で

1人でも2人でもMTDLPに関わってみてください。効果の違いを必ず感じられると思います。MTDLPの視点は意識しないと普段の臨床で大切なことを見落とし、ただ毎日同じことを繰り返すこともあるかもしれません。対象者全員に使用する必要はないので、ぜひ研修に参加してMTDLPの知識を深めていただければと思います。MTDLPの視点ってなんだと気になる方は研修でお持ちしています。

認知症支援委員会では認知症ケアに対してのOTに対するニーズは高まっていますが、いざという時に何から助言し、サポートしたら良いのか困ることも多いかと思っています。そのような時のためにも認知症の疾患や認知症リハビリテーションについてこの委員会の企画する研修に参加していただいて、いつでも地域住民の役に立てるOTになっていただきたいと思います。どうぞ今後とも両委員会をよろしく願いいたします。





活動報告



新入会歓迎研修会

6月15日ピュアリティまきびで新入会員歓迎研修会が開催されました。参加者の方から、コメントをいただきました。

山江美紗季さん

東古松サント診療所

身体障害領域、精神障害領域、小児発達領域それぞれの先生方のお話を聞く貴重な時間を設けていただきました。新人時代の悩みや失敗をどう乗り越え成長につなげたか、臨床・多職種連携・対象者や家族との関わり方をどう学んできたかなどを教えていただきました。先生方の話を聞き、今自分が悩んでいることや困難に感じていることは皆さん経験しているものだとわかり少し安心しました。悩んでいることをそのままにせず、先輩方に相談したり自分なりに考え実行したりすることで自分のキャリアアップにつながっていくということを改めて感じました。

現在、私は精神科デイケアに配属されています。新しい環境で業務や利用者の方・他職種との関係性の構築など困難に感じるが多々あります。わからないことはわからないままにせず上司に相談したり自分で参考書等で調べたりしています。また、知識や経験を増やすため、研修会などにも参加させていただいています。関係性を構築するためにまずは挨拶をしっかりとおこない、特に利用者の方には積極的に声をかけたり作業を通してかかわりを増やしたりしています。

これから自分のキャリアについて考えていく上で先生方の話を参考にしていきたいです。

安藤春奈さん

通所リハビリテーションひまわり（平病院）

新人歓迎研修会に参加し、岡山県の作業療法士会や作業療法連盟の活動について理解を深めることができました。組織や制度の成り立ちを知ること、作業療法士としての専門性がどのように社会に位置づけられているのかや、自身の仕事への責任や役割を改めて感じる機会となりました。

特に印象に残ったのは、経験年数の近い先輩方による新人時代の体験談です。臨床現場での戸惑いや悩みを率直に語ってくださり、相談のタイミングや方法についても具体的なアドバイスをいただいたことで、今後の実践に向けた心構えが少しできたように思います。自分だけが不安を抱えているわけではないと知ることができたことは、精神的にも大きな支えとなりました。困ったときには一人で抱え込まず、周囲に助けを求めることの大切さを学び、今後の成長に向けた前向きな視点を得ることができました。

温かく、実りある時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



事業部 介護支援専門員と作業療法士の合同研修会

作業療法士とケアマネのコラボレーション！～ケアプランを作成しよう～

事業部MTDLP班では毎年岡山県介護支援専門員協会と合同で研修会を開催しています。

今年度は6月27日に『介護支援専門員と作業療法士の合同研修会～作業療法士とケアマネのコラボレーション！ケアプランを作成しよう』をテーマにオンライン研修を開催し約30名の方に参加いただきました。今回の研修では、岡山県作業療法士会事業部の古澤部長の講義により、医療機関での作業療法士の動き方と、ケアマネとの情報共有のタイミングや必要な情報を入院～退院までの時系列の中で整理することができました。また若宮園在宅介護支援センター介護支援専門員の中村公一先生から、ケアプランの重要性や作成のポイント、実際の1～3表までの説明があり、作業療法士がケアプラン作成までに情報提供すべき情報を考えることができ

ました。グループワークでは実際の事例のケアプランを参考にして、意見交換を行い、ケアマネと作業療法士が入院中から早期に予後予測を共有し、情報交換を行うことで対象者の意向に沿った形で入院中から訓練を実施し、ケアプランにも反映できるのではないかと前向きな意見が出ました。



合同研修会 講師・運営メンバー

私たちの共通の目的は、一緒に対象者の生活を専門職として再構築していくことであり、その為に情報共有が重要であると再認識する研修会となりました。

来年度も研修を企画しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

事業部 副部長
小坂美江（しげい病院）

学術部 学術誌編集部門

論文執筆のキホン（初学者セミナー）～事例報告編～



7月30日に、「論文執筆のキホン（初学者セミナー）～事例報告編～」をテーマに、井村亘先生（玉野総合医療専門学校）、真鍋圭先生（川崎医療福祉大学）を講師としてWeb研修会を開催しました。事例報告について、学会発表から論文執筆をするまでのポイントや実際に発表や投稿した取り組みについての講演内容でした。17名の参加があり、「学会発表をしていこうと考えてる中での講義だったのでとてもためになった」「事例報告のまとめ方や論文との関連づけの視点など、臨床での経験をより専門的に言語化するためのポイントを丁寧に解説いただき、大変参考になった」との感想が聞かれました。また、今年度は講義後に、気軽に相談し合える場をもつことを目的に、グループディスカッションを企画しました。「少人数であり発言がしやすい雰囲気だったので良かった」「他の参加者の発表や意見を聞く中で、多様な視点や事例の捉え方を学ぶことができた」「臨床にも活かせる気づきが多く大変有意義な時間となった」と大変好評でした。

学術誌編集部門では、今後も会員の学術的スキルアップに向けたサポートを行っていきたいと思います。学術的取り組み促進に向けた相談室の利用や学術誌「作業療法おかやま」への投稿をお待ちしています！

学術部 副部長 大野宏明（川崎医療福祉大学）

広報部 アピール部門

介護サービス博覧会 マッチングプラザ

6月17日、18日にマッチングプラザ2025がコンベックス岡山の中展示場で開催され、例年通り県士会のブースを出展致しました。



今年の来場者は食事関連の自助具に興味を示す方が多く、その他生活に関する困り事へのアドバイスを求められることもありました。精神科分野に訪問リハビリテーションがあることを初めて知った、との感想も聞かれました。例年に比べて学生の来場者が多く、リハビリ関係だけでなく介護や薬学系の学生も来場してくれていたのが印象的でした。18日の午前には岩井理事（創心会所属）による、住環境調整に関するセミナーが開催され、好評を博しました。

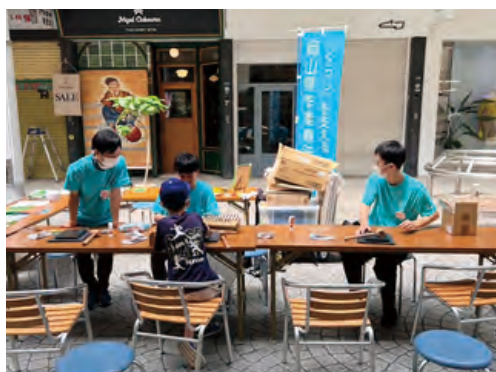


広報部アピール部門 副部長 谷 有人（トライスルみらい農園）

こころの日フェスタ

7月20日に岡山市の奉還町商店街アムスメール上之町で「こころの日フェスタ」が開催され昨年に続き県士会で体験ブースの出展を行いました。「革細工」を中心に、「よんろのご」や「豆つまみゲーム」など子供でもできる作業体験を実施。昨年同様にミニ講演会もあり好評でした。

今年も昨年同様「革細工」が人気で終始革細工にお客が集まっていました。真夏の開催で一日中屋外で活動を行ったために、ブースのスタッフとしてもしっかりと熱中症対策を準備しておく必要があると認識しました。



広報部 アピール部門 大地将之（岡山市立市民病院）

学術部 精神障害部門研修会

『希望に寄り添う作業療法～各領域での実践と工夫～』

8月30日、精神科作業療法の本質や専門性について多様な領域のスペシャリストに報告頂き、グループディスカッションを通じて作業療法士のつながりを強化、新たな視点と工夫を学ぶことを目的にした研修を開催しました。座長に八杉基史先生(訪問看護タウンサークル)、パネリストに新宮里美先生・阪本綾子先生(慈圭病院)、石井葵先生(山陽病院)、西崎真心先生(河田病院)、上山和馬先生(訪問看護ステーションとわ)を招聘しました。テーマである「対象者の希望に寄り添う」について参加者全員で再考する機会となりました。



学術部 精神障害部門 樋之津健二（岡山大学病院）

参加者からの感想

今回の研修に参加し同じ精神科作業療法という枠組みの中であっても、領域ごとの特色や課題、そしてそれを乗り越えるためのリアルな工夫についてのお話はとても印象に残りました。特に、慢性期の領域の先生方とのグループワークは、私自身の価値観に大きな影響を与えました。慢性期特有の考え方や課題には共感する部分が多かった一方で、その課題へのアプローチ方法の多様



さに、作業療法という職種の奥深さを強く感じました。同じ目標を設定していても、そこに至るまでの方法は無数に存在するということを改めて認識できました。また、研修のテーマである「希望に寄り添う」という言葉は、作業療法士として、対象者の方にどのような立場に関わり、どんな未来を提供していくべきかを深く考えさせられるきっかけとなりました。

今回の研修は、自身の専門性を再考し、今後の業務に対する視野を広げる貴重な機会となりました。

白根祐希（山陽病院）

美作支部

交流会を開催しました！



美作支部・交流会が、令和7年9月6日(土)19時~、ユニゾン(パーティールーム)にて開催されました。最初に参加者全員(17名)で集合写真を撮り、飲食が開始されました。くじ引きで席を決めたため、自分の知らない分野の方々ともご一緒する事が出来ました。途中、レクレーションを準備して下さっており、参加者全員で楽しむ事が出来ました。

美作地域の作業療法士の歴史、地域の中から見た作業療法士、社会作業療法士という新しい知見の共有、と皆さんと様々なお話が出来ました。盛りだくさんな内容でしたが、楽しくじっくりお話が出来たのは、会をスムーズに進行して下さった研修班の方々の配慮があった為とも感じました。良い時間を過ごす事が出来ました。

参加させて頂き、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

井上拓人（津山第一病院）





【学術部老年期部門部門】

『その人の最期の時間に寄り添うということ～ 作業療法士として、一人の人間として～』

日 時：令和7年11月16日（日）9時30分～12時（受付9時～）

講 師：池知 良昭 先生（香川県立丸亀病院 専門作業療法士（がん））

会 場：川崎医療福祉大学 講義棟3602講義室

【子ども地域支援委員会】

『沼地（答えの出ない問題やもやもや）から未来を語ろう -不登校ver-』

日 時：令和7年11月19日（水）19：00～21：00

講 師：本岡 真理 先生（作業療法士 特定非営利活動法人はびりす）

形 式：Zoomによるオンライン研修

『CO-OP approachに基づいた学校作業療法の実践』

日 時：令和7年12月17日（水）19：00～21：00

講 師：塩津 裕康 先生（作業療法士

公立大学法人名古屋市立大学 医学部保健医療学科 リハビリテーション学専攻 講師）

形 式：Zoomによるオンライン研修

【MTDLP普及推進委員会研修会開催予定】

MTDLP指導者養成勉強会

日 時：令和7年11月30日（日）

10：00～12：00

形 式：Zoomによるオンライン研修

第2回MTDLP事例検討会

日 時：令和8年1月25日（日）

9：30～12：45

定 員：発表12名 聴講24名

形 式：Zoomによるオンライン研修

MTDLP中国地区合同研修会

『（仮）指導者認定MTDLP事例報告会を体験しよう』

日 時：令和8年2月20日（金）19：00～20：30

形 式：Zoomによるオンライン研修



【学術部発達障害部門】

『訪問看護リハビリテーションの作業療法士からみた不登校の現状と支援』

日 時：令和8年1月24日（土）10：00～12：00

講 師：高原 康德 先生（作業療法士 創心會訪問看護リハビリステーション リハ部門）

形 式：Zoomによるオンライン研修

【認知症支援委員会研修会開催予定】

『認知症作業療法における評価とその解釈』

日 時：令和8年2月6日（金）19：00～20：30

形 式：Zoomによるオンライン研修

※各研修会の詳細につきましては、ホームページにて案内をいたしますのでご確認ください。



私の二刀流

『レコード盤 ～隠された魅力と価値～』

藤岡 晃さん 50代 岡山大学病院



(取材：杉本努)

今回の私の二刀流は、岡山大学病院の藤岡晃さんです。

何やら巷で静かなるブームを起こしている「レコード」で音楽を聴いているとのことで、直接ご自宅に伺い、取材させていただきました。

<レコードを聴くようになった経緯は？>

- ・数年前、先輩から処分に困っていたレコードプレーヤーとレコード盤をセットで譲り受けたのがきっかけです。レコード盤に針を落としたドキドキの瞬間は今も覚えています。
- ・やってきたレコード盤の中に偶然にもCD盤で所持するアルバムがあったので、聴き比べもしてみました。

<CDと比べてレコードの音は、どのように感じられましたか？>

- ・一部に聞き覚えの無いコーラスや楽器の音が聴こえてきて不思議な気分になりました。
- ・誤解の無い様に申し上げますと、一般的には、CDとレコードでは大きな音質差は無いと言われています。私なりの分析ですが、CDでは好きな曲の好きな部分を早送りをしながら聴いていただけだった、という結論に至りました。

<レコードは物理的に早送りや曲飛ばしができませんよね>

- ・だからこそレコードに合わせて「本来の」ペースで曲を聴くようになったのですが、同時に曲の作り手には申し訳ない聴き方をしていたなあ・・・と反省しました(笑)。それ以来、曲の初めから終わりまで時間をかけて何度もじっくり聴くようになりました。いつしかレコードを聴くひときは、曲の作り手と対話ができる大事な作業となりました。

<他にレコードの魅力は？>

- ・約30センチ四方の迫力あるジャケットデザインです。ジャケットはプロのデザイナーが曲の世界観を表現するよう魂を込めて製作されています。そのため芸術性が高く、壁に飾れば装飾パネルに早変わりします。また、歌手名やタイトルを記すフォントや配色など細部まで眺めるのも楽しみのひとつです。

<レコードを一言でまとめると？>

- ・五感で楽しめるアートの集合体でしょうか(笑)。

【取材後記】

藤岡さんのお話を通じて、「音楽を聴く」という行為がレコードという媒体を通していかに深みのある体験になるかを実感しました。レコードを手に取り、ジャケットを眺め、針を落とすという一連の行為は、デジタル音源では得られない、音楽をより深く味わう楽しさがありました。



現代は時間対効果が重要視され、我々の臨床場面でも成果主義に傾きがちです。しかし、レコードに限らず敢えて手間と時間をかけて得られる豊かさは、まさに作業療法の魅力に通じるものがあると感じました。なお、サブスク全盛の現在でも、レコード盤でのリリースは増えているとのこと。本当に良いものは、いつの時代も周囲から愛され継続されますね。取材の帰り道、作業療法（士）としてとても大切なことに改めて気づかされました。

ちなみに今回の取材中、藤岡さんがレコード以外にも趣味の枠を超える活動をされていることが判明！ 藤岡さん、いつかまた『私の二刀流』でお話を聞かせてください！！

ちょっと 一息

「甲子園のベンチから学んだこと」

吉村 学（川崎医療福祉大学）

この夏の甲子園、沖縄尚学高校の活躍が大きな話題となりました。球児たちが一球に懸ける姿は、毎年多くの人の心を動かします。実は私も高校3年生のとき、甲子園の土を踏む経験をしました。といってもスター選手ではなく、いわゆるベンチメンバー。サードコーチャーとして声を張り上げ、ピンチの場面で伝令として監督の指示を選手に伝えることが私の役割でした。

そして迎えたベスト8をかけた試合、人生、最初で最後の甲子園での打席。与えられたチャンスに全身全霊をかけましたが、結果は三球三振……。それでも夢の舞台に立てたこと、仲間と一緒に戦えたことは、何にも代えがたい宝物になりました。ベンチから見つめる甲子園の景色はテレビ越しとはまるで違い、打席や守備に立つ仲間が確かに主役ですが、その背後には声を出し続ける者、道具を整える者、監督の言葉を伝える者といった「縁の下の力持ち」の存在が欠かせません。

また、スタンドから途切れることなく響く応援や、毎日の練習を支えてくれた両親の存在も忘れられません。お弁当を作ってくれた母、遠征の送り迎えをしてくれた父、試合に駆けつけ声援を送ってくれた家族。グラウンドに立つ私たちの背後には、目には見えない大きな支えがありました。

振り返れば、この経験は今の作業療法士としての姿勢に通じています。患者さんが「主役」として生活の舞台に立てるよう、私たちは環境を整え、声をかけ、ときに背中を押す存在です。甲子園で「直接活躍できなくても支え続けることに意味がある」と学んだことが、いま私の臨床や教育の根幹となっています。

作業療法は華やかな場面ばかりではなく、小さな積み重ねの連続です。表に出なくても支えることで誰かの力が引き出される——甲子園での経験は、その喜びを知る大切なきっかけでした。これからも「支える力」を胸に、臨床や教育に向き合っていきたいと思います。



甲子園出場を決めた瞬間



甲子園の思い出たち

理事会報告

2025年度第2回理事会抄録

日時:2025年6月19日(木) 19:00~20:40 場所:岡山県作業療法士会事務局 ZoomシステムによるWeb会議

○全会員数 1124名 入会 11名 退会 5名

審議事項

◎事務局

- ・後援依頼(1件)

第39回日本ダウン症療育研究会主催、「第39回日本ダウン症療育研究会」→承認

◎広報部

○OTアピール部門

・山陽新聞「作業療法の日」広告記事にて、今後進路を検討する中高生や保護者を視野に入れた内容を予定している。→承認 インタビューは岡山大学病院の高木氏に依頼する。

◎学術部

○学会サポート委員会

・無料のホームページ作成サービスを使用して学会ホームページを作成し、公開してよいか。→承認
・SNSのライブ機能を活用した広報活動を行いたい。→継続審議

・SNSで仮の事例に対する目標設定に関して、各自の実際の取り組みを数分の動画で紹介する広報を行いたい。→継続審議

・学会のFacebookアカウントを再開し、またそのFacebookアカウントを使用したInstagramアカウントを作成してもよいか。→承認

・学会に子育て世代の参加を促す対策の選定のためのアンケートを実施したい。→承認

報告事項

◎会長

・日本作業療法士協会発出の「協会員=士会員」実現のための新方策について説明。

◎大月副会長

・自民党に提出した要望について、「保育所等訪問支援事業の理解の浸透について」に関しては前向きな回答が得られた。引き続き、作業療法士と作業療法を取り巻く環境について要望していく。

◎事務局

・2024年度の入退会状況について、入会者数 63名、退会者数 69名。県外からの転入者の入会が少ない。岡山県所属の県士会会員ではない協会会員への入会案内の送付を検討する。

◎学術部

○身体障害部門

・「脳血管障害における脳画像の臨床評価について(仮)」をテーマに、脳画像の診かた、画像から読み取る病巣部位と予測される病態及び障害像などの内容で研修会の開催を令和8年1月頃予定。

○精神障害部門

・8月30日 精神科多領域の作業療法士によるパネルディスカッションを主とした研修会 開催予定。
・7月20日 こころの日フェスタ 開催予定。表町商店街にて作業療法に関する30分間程度の講演と体

験コーナー(革細工)を行う予定。講師は森本氏(林病院)に依頼。

○学会サポート委員会

・第38回岡山県作業療法学会について、岡山国際交流センターを会場とする。演題登録開始は従来通り10月頃を予定。プレ企画として、初心者向けに演題発表までの流れなどのセミナー、中堅者向けに参考となる資料の作成及び学会ホームページでの公開などを検討中。

○学術誌編集部門

・学術誌「作業療法おかやま」第35巻の進捗状況の報告。

・学術誌編集部門研修会の募集開始(7月30日開催予定)

○MTDLP普及推進委員会

・7月27日 第1回MTDLP事例検討会(Web研修会) 開催予定。

・8月24日 MTDLP基礎研修会(Web研修会) 開催予定。

◎事業部

・岡山県高校通級スペシャル応援団派遣事業について、会員を1名派遣。派遣期間は令和7年4月1日~令和8年3月31日。

◎臨床実習指導者養成委員会

・令和8年2月14日~15日 令和7年度臨床実習指導者講習会(岡山講習会《Web講習会》) 開催予定。

◎子ども地域支援委員会

・放課後児童クラブ-作業療法士連携事業について、岡山県内の49クラブから依頼あり。

・美作市教育委員会-作業療法士連携事業について、1学期は小学校4校、中学校1校からの依頼あり。1学期は指導。

OT4名で対応、育成OT(県北OT)2名が参加。

・高校通級スペシャル応援団について、山下えりか氏(岡山県精神科医療センター)が訪問予定。

・12月17日 第1回研修会(Web研修会) 開催予定。

・6月26日 岡山県学童保育連絡協議会からの講師依頼あり。

・7月19日に行われる教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会(JAOT制度対策部)へ子ども地域支援委員会の部員が参加予定。

◎広報部

○ニュース発行部門

・広報誌夏号(7月15日発行)は作成中。広報誌秋号(10月15日発行)、巻頭言は米井理事。原稿締め切りについて、広報誌は9月14日。研修会一覧は9月20日。

○OTアピール部門

・OHK教育支援企画「おしごと本」について、6月

中を目安として修正中。

◎訪問リハビリテーション振興委員会

・7月12日 第12回岡山県訪問リハビリテーション実務者研修会（Web研修会） 開催予定。

次回理事会 8月21日

2025年度第3回理事会抄録

日時:2025年8月21日(木) 19:00~20:45 場所:岡山県作業療法士会事務局 ZoomシステムによるWeb会議

○全会員数 1130名 入会 27名 退会 21名 8月9日現在

審議事項

◎会長

・士会活動状況のスライドの更新について、担当理事へは個別にメールにて依頼する →承認

・士会活動における日当支給の検討にあたり、2024年度の会議、研修会、派遣事業等における人数、時間等の調査をし、結果をもとにシミュレーション等を行いたい。 →承認

◎事務局

・後援依頼（公社）認知症の人と家族の会岡山県支部主催、「世界アルツハイマーデー啓発活動」の後援。 →承認

・通信運搬費及び印刷製本費について、複数の業者で経費削減のための検討を行いたい。 →承認

◎保険部

・現在の保険部研修会のうち、報酬改定時の説明研修会は無料化を検討したい。 →承認 保険部研修会から「保険部診療報酬改定説明会」と改称して参加費無料とする。

◎事業部

・作業療法フェスティバルにおける駐車場代金について、作業療法フェスティバルは県民向けの作業療法啓蒙活動であり一般参加者が多いため、会場の駐車場料金を予算枠内で県士会負担としたい。 →承認

◎学術部

○学会準備サポート委員会

・第38回岡山県作業療法学会について、演題プレセミナーを企画しているが、その際の会員の参加費を無料としたい。 →このプレセミナーの参加費は学会参加費に含むという解釈で、参加費を500円いただくが、学会に参加すれば当該料金を学会参加費から差し引くことで承認。

・演題プレセミナー受講者に日本作業療法士協会生涯教育ポイントを付与したい。 →承認

・ポストセミナーで、3人が座談会を行う予定だが講師料が発生するか。 →自由に意見を言い合う形式であり、講師とは言い難いため講師料は発生しないことで承認。

◎地域包括ケア推進委員会

OOT協会

・（一社）日本作業療法士協会主催、2025年度第2回地域事業支援会議（ハイブリッド形式）が10月4日、5日の二日間で開催予定。1日目は酒井理事、岸本氏（備前市地域包括支援センター）、聴講者は岩井理事、大塚氏（アール・ケア）、竹田氏（金田病院）がZoomで参加予定、2日目の参加者はリハ団体の各ブロックのLINEグループにて募集を行いたい。 →承認

報告事項

◎事務局

・「協会長・都道府県士会長協議会（よんぱち）」にて、2025年度第1回「協会員＝士会員」実現に向けた事務局会議の報告。

◎MTDLP普及推進委員会

・7月27日 第1回MTDLP事例検討会（Web研修会） 開催 発表1名 聴講9名。

・9月21日 MTDLP事例検討会書き方研修会（Web研修会） 開催予定。

◎認知症支援委員会

・10月24日 第1回認知症作業療法研修会（Web研修会） 開催予定。

◎学術部

○学会準備サポート委員会

・第38回岡山県作業療法学会について、学会専用HPを公開。さらにFacebookを再開し、新たにInstagramアカウントを開設し、公開した。

・前回の理事会で提案したライブ機能や模擬事例を用いた目標設定に関する投稿は、検討の結果、実施しないこととなった。

・演題作成や発表の参考資料が完成し、学会専用HPに掲載。

・講演について、基調講演のテーマは「目標設定は誰のために？ ～ともに実践し、共有される意義を再考する～」、講師は友利幸之介氏。教育講演のテーマは「目標設定を文化にする ～1人ひとりが担うリーダーシップと組織開発～」、講師は駒崎かな氏。

・子育て世代の学会参加促進のためのアンケートを実施。その結果をもとに、子連れ参加や親子席、託児、子供向け発達支援の体験ブース設置などを検討する。

○学術誌編集部門

・学術誌「作業療法おかやま」35巻の進捗状況について、テーマは「地域生活を支える作業療法」。4本の入稿があり、1本は入稿待ち。

・7月30日 学術誌編集部門研修会 開催 参加者17名（岡山県士会員17名）。

○発達障害部門

・令和8年1月24日 研修会（Web研修会） 開催予定。テーマは「訪問看護リハビリテーションの作業療法士からみた不登校の現状と支援」、講師は高原康徳氏。

◎教育部

・本年度の研修会および生涯教育制度説明会の予定について。

・8月28日 第1回現職者共通研修事例検討・報告会

(Web研修会) 開催予定。

・12月7日 現職者選択研修(精神障害領域、Web研修会) 開催予定 2024年度以前入会者対象。

◎子ども地域支援委員会

・放課後児童クラブ-作業療法士連携事業について、岡山県内の49クラブから依頼あり。指導OT21名、育成OT15名参加。

・美作市教育委員会-作業療法士連携事業について、1学期は小学校4校、中学校(樸学園:不登校特例校)1校からの依頼あり。指導OT4名で対応。育成OT2名(県北OT)参加。

・高校通級スペシャル応援団は山下えりか氏(岡山県精神科医療センター)が訪問予定。

・12月17日 第1回研修会(Web研修会) 開催予定。テーマは「CO-OP approachに基づいた学校作業療法の実践」、講師は塩津裕康氏(作業療法士、名古屋市立大学)。

・6月26日 岡山県学童保育連絡協議会からの講師依頼は森川理事にて対応。

・7月19日 教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会(JAOT制度対策部)へは子ども地域支援委員会の部員が参加した。

◎訪問リハビリテーション振興委員会

・7月12日 第12回岡山県訪問リハビリテーション実務者研修会(Web研修会) 開催 参加者24名(PT7名、OT9名、ST6名、ケアマネ1名、管理栄養士1名)。

◎広報部

○ニュース発行部門

・広報誌秋号(10月15日発行)、巻頭言は米井理事。原稿締め切りについて、広報誌は9月14日、研修会一覧は9月20日。

○OTアピール部門

・OHK教育支援企画「おしごと本」については終了。

・山陽新聞広告記事について、藤岡理事の協力のもと8月5日に高木氏(岡大病院)へのインタビューを実施。

◎地域包括ケア推進委員会

○研修班

・中国5県士会で現状の共有、最近の地域リハビリテーション活動支援事業に関する動向についての情報共有を行った。

○岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会

・10月5日 スタートアップ研修会 開催予定。

・地域ケア会議特化型研修会として、今年は導入研修会、基礎研修会を開催予定。

・リハ団体に依頼のある事業において、会員が事故を起こした際の保険の準備や、派遣時の資料作成の際の著作権侵害について、注意喚起する資料を作成していく。

・県、市町村担当者との意見交換を行った。リハ団体に依頼する費用について、参加いただいた市町村は概ねリハ団体が提示した金額で検討されると回答あり。

次回理事会 10月16日



あいサポート運動を広げよう



岡山県作業療法士会は、「あいサポート運動」の趣旨に賛同し、あいサポートの輪を広げる活動を行っています。

「あいサポート」とは「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ障害のある人を優しく支え、ちょっとした手助け(*)をすることを意味しています。

「あいサポート運動」とは様々な障害の特性を理解して障害のある方が困っていることに対して、ちょっとした手助けや心くばり(*)などを実践することで誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)を目指していく運動です。

あいサポート運動は岡山県が実施している運動です。

*ちょっとした手助けや心配りの例

- ・困っていそうな人を見かけたら「何かお困りですか?」と声を掛けてサポートする
- ・ご高齢の方やお身体の不自由な方に公共交通機関で席を譲る
- ・必要と思われる方にヘルプマークを紹介する (岡山県ホームページより)



事務局長からのお知らせ

新入会者の皆様へ

岡山県作業療法士会への入会手続きはホームページの
[入会・退会・所属変更]よりお願いいたします。



登録情報の確認・修正について

岡山県作業療法士会における会員の皆様の登録情報の管理は、日本作業療法士協会会員管理システムにて管理(1本化)しています。登録情報の確認・修正は、日本作業療法士協会ホームページの会員ポータルサイトよりお願いします。登録情報に誤りがある場合、発送物が届かなくなる可能性もございます。会員情報(付帯情報)の入力が完了しておられない方は必ず登録をお願いします。

発送について

日本作業療法士協会の発送区分に従い送付する事となりますのでよろしくお願いします。

岡山県作業療法士会の入会・退会・休会について

岡山県作業療法士会ホームページの入会・退会・所属変更をご参照下さい。

休会については、日本作業療法士協会を休会されると、自動的に県士会も休会になります。休会を希望される方は、日本作業療法士協会のホームページをご参照ください。

年会費について

会員年会費: 10,000円

新入会員: 11,000円(年会費+県士会入会金1,000円)

原則、全会員が自動引き落としでの会費徴収となります。まだ、申し込みをされていない方は至急申し込みをお願いいたします。申し込み用紙を紛失された方は事務局までご連絡ください。

※今年度の新入会会員の方は、11月に自動引き落としを実施いたします。

※自動引き落としの申し込みをされていない方は至急入金をお願いします。定款規約第10条第1号の3項に基づき、2年未納の方は除名になるおそれがありますのでご注意ください。

振込先 中国銀行 奉還町支店 普 1921671

一般社団法人岡山県作業療法士会 代表理事 西出康晴

研修会参加費について

該当年度の会費未納者は研修会参加費が非会員扱いとなっています。

自動引き落とし申し込み済者は会員扱いとなります。研修会へ参加される1週間前の時点で入金が確認できない場合は、非会員扱いとなりますのでご注意ください。

事務局長：藤川 信（万成病院）

県士会専用 TEL：086-256-2701

FAX：086-256-2702

E-mail okaot_jim@okayama-ot.or.jp

作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医師・看護師・薬剤師・放射線技師・社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・管理栄養士・医療事務…

岡山生まれの岡山育ち 2000年創業のリスコは25周年



2000年に地元岡山で創業してから25年。

リスコは、看護師、リハビリ・医療職、介護職の方々に特化し、全面サポートさせていただく転職エージェントです。性格、価値観、家庭環境…、仕事選びは一人ひとり異なります。だからこそ、リスコは必ず面談を行い、必ずお仕事の現場に足を運び、会って話すことを大切にしています。時代が進み社会のニーズが変わっても、「人と向き合い、心に寄り添う」という思いは変わりません。「人」「職場」「地域(岡山)」のいちばん近くで、求職者様・求人者様それぞれの思いに向き合い、結びつけることが私たちの役割です。

医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15岡山商工会議所ビル8F



0120-235-565 (平日9:00~18:00)

<https://www.risuco.com>

リスコ で検索！



【厚生労働省許可番号】紹介 (33-1-300017) 派遣 (派33-300044)



訪問看護ステーション タウンサークル

主として精神疾患を有する方々の
訪問看護とリハビリテーションに
多職種で取り組んでいます



(株) 八 豊 会

〒700-0952 岡山市北区平田 153-103

TEL : 086-259-2021 FAX : 086-259-2022



詳しくはHPで **URL** <https://town-circle.com/>



製品情報

IVES Pro

アイビス プロ GD-6122 / GD-6124

- 販売名 / 電気刺激装置 / 筋電計 GD-6122
- 電気刺激装置 / 筋電計 GD-6124
- 一般名称 / 低周波治療器・筋電計
- 認証番号 / 304AABZX00050000 (GD-6122)
304AABZX00051000 (GD-6124)
- クラス分類 / 管理医療機器・特定保守管理医療機器

筋刺激と鎮痛に加えて測定まで
オールインワンの電気刺激装置

9種類の治療モード



測定モード



ad-88-2505-0



物理療法機器・リハビリ機器・介護用入浴機器

オージー技研株式会社

【岡山本社】〒703-8261 岡山県岡山市中区海吉1835-7
【東京本社】〒100-6004 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング4階
【事業所】北日本支店・札幌営業所・盛岡営業所・北関東支店・新潟営業所・南関東支店・横浜営業所・千葉営業所・中部支店・金沢営業所・関西支店・神戸営業所・中四国支店・広島営業所・高松営業所・九州支店・鹿児島営業所

オージーウエルネス 検索

【平日受付コールセンター】

☎ 0120-01-7181

【休日受付コールセンター】

※ 土・日・祝・年末年始 専用

☎ 0120-33-7181

受付時間 9:00~17:00 (平日・休日 共通)



アール・ケアグループ

挑戦はまっ先に。サービスはまっすぐに。

一般社団法人 アール・ケア ホールディングス

株式会社 アール・ケア

医療法人ブランドル医会 ハーヴィスクリニック

NPO法人 アール・ケア スタイル

株式会社 アール・ケア クルーズ

株式会社 アール・ケア | 本社 | 〒706-0134 玉野市東高崎 25-34

Tel: 0863-73-5085 / Fax: 0863-73-5077



地域とともに「ひろがれ！笑顔」

《施設概要》

- 精神科一般病棟
- 精神科療養病棟
- 認知症治療病棟
- 精神科デイケア

《関連施設》

- 多機能型事業所 ひまわり
(夜間宿泊型、自立支援、就労継続B)
- ケアホーム・グループホーム
(ひまわりホーム しらゆりホーム)
- 訪問看護ステーション
(岡山リハ・ケアステーション)
- 介護老人保健施設
(岡山リハビリテーションホーム)
※通所(デイケアセンター)
短期入所(ショートステイ)



中鉄バス/登万成停留所より徒歩1分 岡山県道/三門駅より徒歩10分

日本医療機能評価認定病院

臨床研修病院指定 精神神経学会専門医研修施設 認知症学会教育施設



万成病院PR動画



特定医療法人
まん なり

万成病院

〒700-0071

TEL (086) 252-2261 (代)

URL <https://mannari.or.jp>

FAX (086) 254-0800

E-mail mannari@mannari.or.jp

いつでも どこでも あなたのそばに



意思伝達装置

発話が困難になった重度障害者を対象に、身体の一部を僅かに動かし自分の気持ちを伝えることができる装置です。

残存部位に適したスイッチや視線入力装置、パソコンの固定台等各種製品をご提案いたします。

アームサポート BFO

上肢の筋力低下や運動麻痺のある方の装具。腕の重みを支え、左右にスムーズに腕を動かすことができ肘を曲げやすく補助することが可能です。自宅や職場等あらゆる場面でご利用できます。



HANE SHOP <橋本義肢が運営するオリジナル製品のネットショップ>

義肢材料やその製作技術を用いて、義肢装具を使用しない方々でも手に取っていただける商品の開発をしています。例えば義肢装具の免荷や補高に使うフェルトを職人が手作業でカットし、レザータグを縫い付け、デスクマットとして販売しています。他にも身体へのフィッティング技術を応用した犬用ハーネスや、様々な杖にフィットするカバー等、様々な商品を展開しています。

Amazon.co.jp HANESHOP を是非ご覧ください。



義肢・装具のご相談・製作・修理は

橋本義肢製作株式会社

<http://www.hashimoto.co.jp>

E-mail ▶ info@hashimoto.co.jp

〒702-8025 岡山市南区浦安西町 32-13 TEL 086-262-0126





Real Habilis

日本一不親切な親切で

私たち創心会グループは来年、創立 30 周年を迎えます。

「リ・ハビリス(再びふさわしい状態にする)」から

「リアル・ハビリス=現実的かつ本質的にふさわしい状態」の実現へ

これからも社会や地域の課題解決に向け挑戦する

イノベーション・カンパニーであり続けます。

SOUSHINKAI GROUP

株式会社 創心会 株式会社 ハートスイッチ 合同会社 ど根性ファーム

株式会社 リンクスライヴ 合同会社 連 社会福祉法人 創心福祉会

〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町 2102-14 TEL : 086-420-1500 (代表)

創心会グループ 障害福祉サービス事業の 支援の流れ



トピックス

自立訓練（生活訓練）
岡山南校
東岡山校
スタート

多様な働き方を
社会の中で創造することも
また
作業療法士の役割だと思ふ。



創心会グループ
株式会社 **ハートスイッチ**

人材・研修、就労支援、定着支援、自立支援、相談支援

倉敷校・岡山校・岡山南校・東岡山校

倉敷市茶屋町 2104-1 TEL:086-420-1500(代)

<https://www.heart-switch.com/>

思い

一人代表は作業療法士で、
重度の障がいがある兄と一筋に過ごす中で、
仕事に必要と感じた福祉サービスを提供したい
という思いで創業しました。

一般社団法人
聖武福祉会



のびのび
発達サポートスペース
オット

理念

会社の理念として、
スタッフの働きやすさ、
利用者・保護者の安心・安全、
「誰しもうまくできる社会」の実現を
目指しています。



発達サポートスペース
オット

新卒採用
岡山県北區新井433-2
☎ 086-237-7739

転卒採用
岡山県北區今江1-45
☎ 086-236-6877

転卒採用
岡山県北區東家4-10-27
☎ 086-259-1620

岡山県の訪問看護ステーションの方へ















ENMAGAZINE

エンマガとは？

無料
会員登録

ENMAGAZINE(エンマガ)は、医療・介護業界に特化した事業所情報・求人サイトです。

求人検索やスカウト機能はもちろん、業界に精通したコンサルタントがインタビューやコラムを通して客観的な企業情報を発信しているため、入社後の「思っていたのと違った…」を防ぐことができます。また、研修動画サイト「アメポケ」、研修セミナーサイト「アメポケカフェ」を活用し、自身の知識とスキルを向上して、より活躍の場を広げる機会が得られます。



Point 1 岡山県の医療介護業界に特化した、**取材でわかる** 求人サイト

Point 2 スカウトメールで効率的な**求職活動**が可能

Point 3 **LINE**からでもご利用いただけます

医療・福祉・介護用品の総合プランナー
(日本義肢協会 中国四国 109 / 指定福祉用具貸与事業所)

株式
会社

舟木義肢



■ 補装具 / 座位保持装置に関するご相談は
舟木義肢 本社 TEL:086-274-6569

■ 舟木義肢 江並支店 福祉用具センター
フリーダイヤル:0120-111-315



「福祉車両があったら楽になるのに…」
でも、
「選び方が分からない」「新車は予算的に無理」
「どこに相談すれば…」



オアシスジャパンでは、福祉車両の ①中古車販売 ②改造 ③レンタカー
④買取り ⑤助成金、税金免除のアドバイス など、お力になれるかもしれません。

(株)オアシスジャパン 電話086-277-4030 岡山市中区江崎210
AM9:00~PM7:00 定休日 日曜
ホームページも見てください! → [オアシスジャパン](#) [検索](#)

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は状況に応じて感染予防対策を実施しています。

【お役に立てる主な研修】

- 医療安全対策研修
- 高齢者の睡眠ケア
- 学校保健委員会

*他、施設内研修などご依頼承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに関しましては、二次元コードより
お問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野4-3-37



～お問い合わせはお気軽に～
0120-224711



モノづくりとコトづくりのトータルプロデュース

75年間、「農」のフィールドで培ってきたさまざまな知識、幅広いサービス、それを展開するツール…

これらの「ノウハウ」を多業種へ展開し、地域を元気にします!

印刷

デザイン

Web

イベント
SNS



ノーイン株式会社

〒700-0031 岡山市北区富町2丁目5番27号
TEL.(086)252-5141(代) FAX.(086)254-4019

www.feel21.co.jp/
ノーイン [検索](#)



賛助会員

A会員

特定医療法人 万成病院
株式会社 アール・ケア
株式会社 リスコ
株式会社 創心會
一般社団法人 聖武福祉会

橋本義肢製作株式会社
訪問看護ステーション タウンサークル
オージー技研株式会社
就労移行支援 ハートスイッチ

B会員

株式会社 舟木義肢
東洋羽毛中四国販売株式会社岡山営業所
EN 株式会社

株式会社 オアシスジャパン
ノーイン株式会社

最新情報・研修会詳細などは、
HP・SNSをご覧ください。



県士会HP



公式LINE



公式X

編集後記

今年の夏は日本の観測史上で最も記録的な猛暑となり、気温が40度を超える日もありました。これだけ暑い日が続くと、熱中症のリスクに加え、睡眠の質の低下、食欲の低下など様々な影響が現れます。それに伴い、ネットクーラーなどの冷却グッズや日傘を使用する人が増加するなど、人々の生活にも変化がみられたのではないかと思います。

人々の生活を支える作業療法士にとって、社会の変化やそれに伴う生活の変化は自分たちの暮らしだけでなく日々の臨床にも影響をするものです。関わる人々の生活や自らの働き方など、変化に柔軟に対応できるよう、広い視野を持って取り組みたいです。

(H.K)

一般社団法人岡山県作業療法士会ニュース 年4回発行(1、4、7、10月)

◇求人広告 1/4頁2500円 1/2頁 5000円 (詳細はHPもしくは広報部 杉本まで)

発行人：西出康晴

発行所：〒700-0071岡山県岡山市北区谷万成1-6-5 万成病院内 一般社団法人岡山県作業療法士会事務局

TEL 086-256-2701 FAX 086-256-2702

印刷：ノーイン株式会社

投稿先：〒702-8053 岡山市南区築港栄町2-13 佐藤病院 杉本 努

TEL 086-263-6622 FAX 086-264-6769 E-mail okaotnews@hotmail.com

一般社団法人 岡山県作業療法士会 (令和7年9月8日現在)

会員数 1131 名

(一社) 岡山県作業療法士会 主催

第38回

岡山県作業療法学会

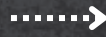
学会長：藤井 裕康（福山市民病院）
場所：岡山国際交流センター
会期：2026年3月8日（日）

プレセミナー

学会前に友利先生、駒崎先生、藤井学会長を講師にお招きしてYOUTUBE動画配信を行います

① 学びに備える

学会を先取りしてより深い学びへ



基調講演

友利 幸之助 先生

東京工科大学
日本作業療法士協会 理事

「目標設定は誰のために？」

～とともに実践し、共有される意義を再考する～

② 形式知を学ぶ

目標設定のトップランナーと本質を再考する

学会テーマ

『目標設定を究める』

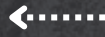
～ともに描こう、その先にある生活を見つめて～



演題募集受付中

10月1日～11月10日

◀ 学会詳細・演題登録はこちら



教育講演

駒崎 かなな 先生

立教大学大学院経営学研究科
リーダーシップ開発コース

「目標設定」を文化にする

～1人ひとりが担うリーダーシップと組織開発～

④ 実践をチームへ広げる

チームで取り組みのためにリーダーシップを学ぶ

③ 実践知を学ぶ

「知っている」から「できる」へ